

自閉症・情緒障害特別支援学級の開級式について

1 目的

- 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにする。
- 新たに開設された自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍することを理解し、同じ学級の仲間と協働しながら自己理解を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

2 実施日

- (1) かしわ学級（池袋第一小学校） 令和5年4月22日（土）
- (2) E組（池袋中学校） 令和5年4月15日（土）

3 参加者

- (1) かしわ学級 14名
＜内訳＞ ・児童3名
・保護者4名
・学校関係者4名（校長、副校長、担任、特別支援教育指導員）
・教育委員会関係者3名（教育長、指導課長、教育センター所長）
- (2) E組 15名
＜内訳＞ ・生徒2名
・保護者等3名
・学校関係者6名（校長、副校長、担任、区費講師）
・教育委員会関係者4名（教育長、教育部長、指導課長、教育センター所長）

4 内容

- ・ 開式の言葉
- ・ 担任呼名
- ・ 児童・生徒呼名
- ・ 校長挨拶
- ・ 設置者挨拶
- ・ 来賓紹介
- ・ 児童・生徒の言葉 *裏面参照
- ・ 閉式の言葉



かしわ学級



E組

<参照>児童・生徒の言葉

◆かしわ学級

児童A：森の中の学校に、私たちのかしわ学級ができました。

児童B：私は、学校がとても近くなってうれしいです。

児童C：私は、集中して勉強できるようになりました。

児童A：私は、交流も楽しいし、かしわ学級も楽しいです。

児童B：これからも、たくさん勉強を頑張っていきたいと思います。

指導C：気をつけ。礼。

◆E組

- 私は中学校で先輩方がとても礼儀正しいのを感じました。先輩方の入学式の言葉にすごく共感し、心に響きました。私も先輩方のような人になりたいです。これから短い間ですが、仲良くしてください。
- うららかな好季節を迎え、入学・進級・卒業の季節になりました。僕は小学校を卒業し、新しく池袋中学校の生徒として入学することができました。そして、この池袋中学校で成し遂げたいことは3つあります。一つ目は中学校生活はどのような感じで過ごしていけばいいのかです。小学校とは違い、授業の内容や新しい教科や制服、ジャージや部活など、小学校生活とは変わるものが多いと思います。その生活に慣れながら楽しく学習に励みたいと思います。二つ目は先輩方や後輩たちなどに丁寧な言葉遣いで接することです。先輩方や先生はもちろん、後輩や友達など様々な人が僕を支えてくれる存在です。ですので、僕も皆さんのお力になれると幸いです。三つ目は学習面での工夫です。中学校で良いスタートを切るために、勉強を頑張ることを決意しました。何度失敗しても、いつかは報われることを信じて、これから頑張っていきたいと思います。そして中学校の三年間を通して頑張りたいことは、積極的に行動に移し、先生や友達、先輩方などとも一緒に作業や活動をしたり、知らない人でも優しく接することができる上級生にないたいです。